

チャックテーブルを取り外した時の安全対策ソフト リリースのお知らせ

対象機種

DAD322 DAD323 DAD324 DAD3220 DAD3221

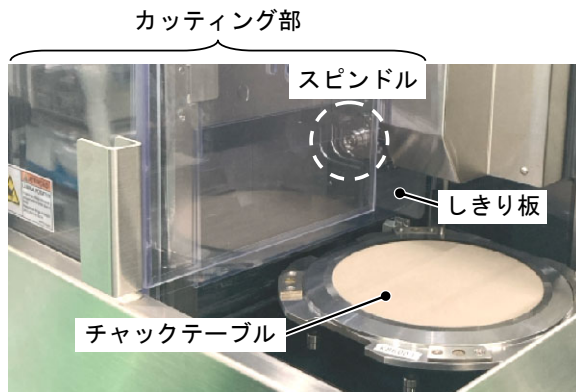
はじめに

DAD3220 のオート動作中に、X 軸が原点に戻ったタイミングでチャックテーブルを取り外した後、落とした部品を取り除くために、しきり板の下からカッティング部に手を入れたことで、回転中のブレードに手が接触し、手の甲に切り傷を負う事故が発生しました。

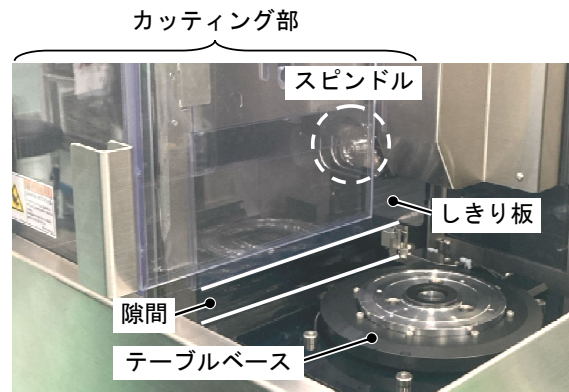
対象機種の仕様

対象機種は、ワークを交換する度にスピンドルの回転を停止すると作業効率が著しく低下するため、X 軸が原点（ワーク交換位置）にあるときは、回転しているスピンドルは停止しない仕様になっています。回転中のスピンドルに手が接触するリスクは、通常のオート動作中にチャックテーブルを取り外す必要性が無いことから、チャックテーブル搭載時に、チャックテーブルとしきり板の間に手を入れるスペースが無い構造で回避しています。

メンテナンス時などにチャックテーブルを取り外すと、テーブルベースとしきり板の隙間が大きくなり、しきり板の下からカッティング部に手を入れるとスピンドルに接触するおそれがあります。



チャックテーブル搭載時



チャックテーブルを取り外した時

また、現在は、X 軸が原点にあるときは、チャックテーブル固定用のバキュームを OFF しても、回転しているスピンドルは停止しない仕様になっています。

対策ソフトの仕様

事故の再発を防止するため、チャックテーブル固定用のバキュームを OFF したときに、回転しているスピンドルを停止する対策ソフトをリリースします。

対策ソフトのインストールについて

【新規装置】

対策ソフトを装置にインストールして出荷する場合は無償です。ご購入時に機械仕様書で対策ソフトをインストールする／しないを選択できます。

【お客様が保有している装置】

対策ソフトは有償です。

- ・新規装置をご購入時に、新規装置と同一バージョンかつ同一仕様のソフトを、お客様が保有している装置にインストールが可能な場合は無償で対策ソフトを提供いたします。弊社カスタマーエンジニアによるインストール作業は有償にて承ります。ご希望のお客様は、弊社営業担当にご連絡ください。

【ご留意いただきたいこと】

対策ソフトがインストールされている装置と、インストールされていない装置が混在する場合、チャックテーブル固定用のバキュームを OFF したときの装置の動作が異なります。装置によって動作が異なることに起因する事故が発生しうることをご留意いただき、インストールの適否をご検討いただきたくお願いいたします。

対象機種に対策ソフトをインストールしない場合

取扱説明書に従い、チャックテーブルを取り外す前に、スピンドルが停止していることを確認してください。

お問い合わせ

本件についてのお問い合わせは、弊社営業担当、またはカスタマーエンジニアまでお願いいたします。
